水と緑　人のいきかう　高島市

# 広報たかしま Takashima

2008 6.15 平成20年 No.69

## ■表紙の写真

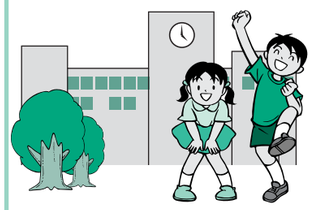
日本の文化を学ぼうと、2週間の日程で日本に訪れたアメリカの大学生17人が、5月18日（日）マキノ町牧野で「田植え」を体験しました。当日は地元農家の指導で、約10アールの田んぼに赤米を植えました。泥にまみれながらの体験に、大学生らは終始笑顔で、歓声が山間に響き渡っていました。今回の体験は、市内中学校の元ALT（外国語指導助手）の方のコーディネートによるもので、高島の魅力は海を越えました。

❷・❸　タウントピックス
❹・❺　お知らせ拡大版
❻・❼　みんなで子育て、親育ち！
　　地域で子育ち、親育て！
❽　いきいき元気生活
❾　防災・消防情報
❿　警察・交通事故発生状況・消費生活相談
⓫ー⓯　情報お知らせ版
⓰　藤樹先生生誕400年祭関連事業
⓱　文化情報
⓲　輝け！おらが学校、藤樹先生の逸話

広報たかしま（平成20年6月15日号）　第69号

■発行／高島市　編集／企画部秘書広報課
〒520-1592　滋賀県高島市新旭町北畑590番地　☎0740(25)8000
http://www.city.takashima.shiga.jp
t-info@city.takashima.shiga.jp

## 輝け！おらが学校



▶ 朽木西小学校

### 毎日楽しく家族のように

**市内でもっとも小さい**おらが学校「朽木西小学校」は、全校児童数5人、教職員数6人の合計11人が、一つの家族のように毎日楽しく学校生活を送っています。少人数の学校ですが、**児童の通学区域はとても広く**、校舎の裏山は京都府と境を接し、尾根伝いに歩くと北は福井県、南は大津市へと続いています。このような豊かな自然の中に学校があり、子どもたちの学習にも、それらをふんだんに取り入れています。

### 豊かな自然に親しむ

春の野草採りや、百里ヶ岳登山を行っています。地元の方の指導で植物の種類を学んだり、摘んできたアザミやフキ等を調理したりして、朽木の自然の豊かさやありがたさを実感しています。

### 地域とつながる

**地域の人々と取り組む**自然体験学習は、子どもたちにとって貴重な活動です。その一つに保護者ボランティアの指導による「米作り」があります。

田植えの後には、泥の海で泳ぎムツゴロウの気分を味わい、秋には刈り取った稲を稲木に干し、足踏み脱穀機で脱穀する一連の作業を通して、米作りの大変さを体験しました。

他にも「ふるさと感謝祭」「地区運動会」など**地元の方々と共に楽しむ行事**がたくさんあります。いずれの取り組みも子どもたちや、地元の方と共同で企画しています。形は様々ですが、**「協力・協働・感謝」**の気持ちを基に、子どもたち一人ひとりが自分の良さを発揮して、**「人と向き合う・ものと向き合う・そして自然と向き合う」**をテーマに、それぞれの取組みを実践してきました。

各地区で行われる「ふれあいサロン」は、地域の高齢者の楽しみになっています。子どもたちは、この会を成功させるために何日も前から準備した出し物を披露します。一生懸命に取り組んだ分、お年寄りに喜んでもらえた時の充実感はひとしおです。

故郷針畑を愛し、**針畑のすばらしさを体で感じ取れるように**、これからも地元の人・もの・自然から様々なことを学び、子どもたちの経験を拡げ、社会性を身に付け、心豊かでたくましく生きる朽木西小学校の子どもであって欲しいと願っています。

**朽木西小学校のデータ**
学級数・児童数：2学級・5人
所在地：朽木中牧187　☎(38)5054

## 藤樹先生の逸話③　「博市堂」はくいちどう

伊予（現在の愛媛県）の博市という目の不自由な人が藤樹先生の教えを求め、ひとり近江の小川村を訪れました。

習い始めの頃は、同志から書物の句読を教わっていましたが、たいへん覚えが早かったので、一度聞けば忘れることがありませんでした。

また、「自筆でないと安否を心配するに違いない」と言って、故郷の親族に左手を定規にして手紙を書きました。

月日が経ち、りっぱに学問を修めた博市は、先生が亡くなられると大洲へ帰りました。その後「博市堂」という講舎を建てて、近郷の人たちに講談を教えました。

［解　説］
この座頭・博市の話しは、江戸中期の「藤夫子行状聞伝（とうふうしぎょうじょうもんでん）」に記載されており、おそらく大洲の人々の間で伝えられていたものと思われます。

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用。
PRINTED WITH SOY INK 大豆インクを使用しています。